

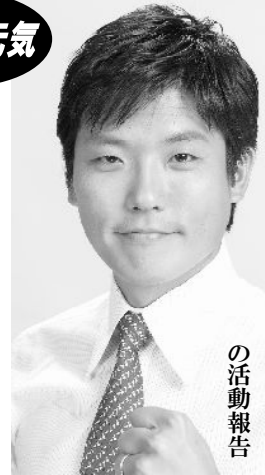
府中一新、日本一新。

府中の元気

フリーダムネット

発行：市民フォーラム 〒183-0051 府中市栄町 2-14-21

No.44 2011.7



府中市議会議員

杉村康之
の活動報告

3期目、新たなる挑戦

新たな決意と6月議会報告

これからも「はっきりイエス、はっきりノー」

三たび、議会にお送り頂き、その重さを感じております。政治が信頼され、政治が力を持てるよう、より一層、真摯に活動を続けてまいります。

■ それでも「政治」をあきらめない

ただ、今の国政は見るも無残で、とても政治を信頼して頂けるような状況ではありません。総理の非常識は尋常ではありませんし、それを抑えられない周りも不甲斐ない。

しかしだからといって、政治をあきらめないでください。なぜなら、国民が選ぶことのできるのは政治家だけだからです。政治家が実権を握っていれば、選挙で国民の意志を通すことができるからです。それが代議制民主主義です。しかし、役所が実権を握っていると、何回選挙しようが、国民の意志は伝わりません。今の日本は国も地方もそんな状態です。

そのために、日本のような豊かな国で、多くの国民が不安を感じながら毎日を過ごしています。

一刻も早く、そんな状態を脱却するために、私はこれからの4年間も全力を注いでまいります。

国政においては、民主主義の定着のために一身を擲っている小沢一郎さんを全力で応援し続けます。市政においては、市民の想いが通じる市政を徹底して追及してまいります。

■ 問題を解決しなければ政治でない

政治が信頼を取り戻すには、身近なところで問題を解決していくよりないと思います。介護の問題、教育の問題、さまざまな問題に答えを出せば、不安は解消されます。不安がなくなれば、お金も周り、みんなも元気になります。自ずと政治への信頼も回復するはずです。

- ・介護認定の待ち時間を短縮する
- ・塾に負けない、公立学校をつくる

例えば、これらを実現できれば、政治も捨てたもんじゃないと思ってもらえるでしょう。

- ① 地域の力、民間の力を活かす。
- ② 情報技術の力を活かす。
- ③ 学校を地域の拠点にする。

具体的に問題を解決するため、選挙で訴えた「3つの力」を活かしていきたいと思います。知恵と工夫のまちづくりに、ぜひこれからも力をお貸しください。よろしくお願いいたします。



6月議会報告 = = =

■ その時、府中の避難所は？

6月の一般質問は、防災問題をあらためて取り上げました。以前から取り組んでいる課題ですが、大震災を経験した今、意識の高いうちに道筋を作っておきたいと考えました。

■2011年6月本会議

杉村 3月11日震災当日、開設された避難所のリーダーシップは誰が取ったか？

市長 市の初動班職員がリーダーとなり、教職員の協力を得ながら実施した。

杉村 避難所開設訓練の成果と課題は？

環境安全部長 7小、6小、8中の総合防災訓練で避難所を体験できる訓練を行っている。市民が主体となった運営が課題。

杉村 避難所のリーダーをどう想定しているか？誰もいないと職員がやることになってしまう。

環境安全部長 初期段階では職員が中心となる。中長期的には避難している方々を中心に運営されるものと考えている。

杉村 住民の主体性、リーダーシップをどうつづけていくか？

環境安全部長 マニュアルの策定を進めている。地域の特性も応じて、自治会、地域住民、PTA、消防団などにご協力いただきながら、避難所運営のしくみづくりを進めていきたい。

杉村 マニュアルの策定と合わせて、それに基づいた避難訓練を推奨してはどうか。実践的な訓練を各地域の防災訓練でも行われるよう、市としても推奨、支援できないか。

環境安全部長 支援してまいりたい。

■ 放射能測定、市はなぜ拒んだ？

今度の議会の注目は、2つの陳情です。1つは放射能の測定を求めるものです。放射能測定については、一般質問でも何人もの議員が発言しましたが、市は当初、かたくなに測定を拒否していました。「独自に測ると混乱するので都に要請する」という理由です。

私は陳情に賛成する立場で会派を代表して以下発言しました。

「市は「都の調査方法を参考に、市民の不安解消

の方法を検討する」というが不安解消のためにこそスピードが重要です。行政には慎重さも必要だが、今はスピードを優先すべき時です。国の復興支援はスピードに欠けると私も思うので野党が批判するのは無理もないが、遅い遅いと批判する人たちが、府中市では慎重にしろというのは理解し難い。再考を求めます。」

他市では独自測定をすることも少なくありませんでしたし、6月議会の途中で都が調査を始めましたが、ついに議会中は測定するとは言いませんでした。それに配慮してか、陳情は自公が賛成せず、継続審査扱いとなりました。

■ 府中の委員会は議事録がないの？！

もう一つは、市議会の委員会議事録の作成を求める陳情です。他市の議員からは「えっ、議事録がないの？」とびっくりされます。府中市議会でも何度も話題になりましたが、その度に、これもやはり自公が賛成せず、棚上げされてきました。ついに、市民から突き上げられた格好です。

結果は「継続審議」となりました。結論を見送る、という意味です。自公は、費用がかかるなどの理由で、「継続」としました。私たちは、「不採択」を避けるため、今回は「継続」に賛同しました。委員会では、私が次のように述べました。

「陳情の内容には全面的に賛成です。ただこれまでの議会内で議論の結果も尊重しなければなりません。次回までにもう一度議会内で議論することを求めて、「一度だけ」継続することに賛成します。」

だらだらと先延ばすことは許されません。9月には、結論が出せるよう働きかけを行います。

府中市議会議員

杉村康之

■ ご意見をお聞かせ下さい。

Email ◆ ysugimura@ac.auone-net.jp

Blog ◆ ameblo.jp/sugimurayasuyuki/

Twitter ◆ @fuchu_no_genki

Mobile Web ◆ sugimoba.com

Web ◆ www.fuchu21.gn

TEL ◆ 042-335-0097

FAX ◆ 042-361-9856

